

平成29年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年3月8日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926  
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第1四半期の業績 (平成28年11月1日～平成29年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	404	△1.4	0	△99.4	0	—	1	—
28年10月期第1四半期	410	—	9	—	△1	—	△2	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年10月期第1四半期	1.73		1.65					
28年10月期第1四半期	△2.64		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第1四半期	652	376	57.7
28年10月期	703	374	53.2

(参考) 自己資本 29年10月期第1四半期 376百万円 28年10月期 374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年10月期	—	—	—	—	—
29年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の業績予想 (平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	896	3.1	27	△1.5	26	56.5	18	91.9	16.42
通期	1,779	3.7	40	△26.9	38	△24.5	26	△29.7	23.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年10月期 1 Q	1,120,400株	28年10月期	1,120,400株
29年10月期 1 Q	—株	28年10月期	—株
29年10月期 1 Q	1,120,400株	28年10月期 1 Q	993,261株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和策などにより、企業の設備投資や雇用情勢は改善がみられ、景気は緩やかな回復基調となりましたが、他方、米国経済における新政権の政策動向と今後の国際市場へ及ぼす影響など、不安定な海外要因等により依然として先行き不透明な状況にあります。

花き業界においては、東京都中央卸売市場で取扱われる平成28年11月から平成29年1月までの、らん鉢取扱い金額は1,358百万円（前年同期比4.0%減）、取扱い数量は441千鉢（前年同期比7.9%減）と、いずれも前年同期比減少ではあったものの、平均価格は前年同期比4.2%増という傾向で推移しております。

このような事業環境の中、当社はフラワービジネス支援事業において、ブライダルの組数減少による婚礼生花の受注の減少があったものの、新規顧客開拓及び既存顧客への深耕営業により、主力商品である胡蝶蘭鉢の出荷取扱いが堅調に推移いたしました。また、フューネラル事業は、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向にある中、市場への葬儀用切花の出荷量が不足気味となり、需要と供給のバランスが崩れたことから、市場相場が上昇傾向となり、その影響で販売単価は微増で推移しております。販売費及び一般管理費については、人員の増強による人件費の増加や、平成29年1月に開設いたしました横浜営業所の開設費用の発生等により、増加いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は404,520千円（前年同期比1.4%減）、営業利益は60千円（同99.4%減）、経常利益は52千円（前年同期は経常損失1,258千円）、四半期純利益は1,943千円（前年同期は四半期純損失2,627千円）となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

#### (フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、贈答用の胡蝶蘭をグループ企業へ販売するという異業種参入支援業務において既存取引先からのご紹介等により、オリジナルフラワーギフトカタログ作製の提案等、新規顧客開拓の強化に注力いたしました。一方で、ブライダルでは婚礼組数減少により、婚礼生花の受注が減少いたしました。なお、平成29年1月に横浜営業所を開設し、お客様の利便性向上と、お客様への対応の迅速化を図り、更なるサービスの拡充等に取り組んでおります。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は254,243千円（前年同期比0.2%減）となりました。

#### (ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、国内提携農園3社への胡蝶蘭生産指導に注力してまいりました。この継続的な取り組みにより、高品質製品の生産割合が向上し、自社製品としての活用を増やしたことで、市場への出荷量は減少いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は102,798千円（前年同期比8.0%減）となりました。

#### (フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、首都圏を中心に葬儀が小型化するというなかで、当社は既存取引先等からの紹介による新規顧客開拓の営業強化に注力したことにより、出荷件数は前年同期比で横ばいとなりました。また、葬儀用切花の市場相場の影響により、販売単価は微増となりました。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は47,478千円（前年同期比8.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当四半期会計期間末における流動資産合計は590,296千円となり、前事業年度末に比べ53,283千円減少しました。この主な要因は、仕掛品が8,811千円増加した一方で、現金及び預金が43,041千円、受取手形及び売掛金が20,127千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定資産)

当四半期会計期間末における固定資産合計は62,056千円となり、前事業年度末に比べ2,341千円増加しました。この主な要因は、その他に含まれております敷金及び保証金が3,121千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当四半期会計期間末における流動負債合計は185,379千円となり、前事業年度末に比べ35,407千円減少しました。この主な要因は、買掛金が8,079千円、1年内返済予定の長期借入金が10,335千円、未払法人税等が6,725千円、賞与引当金が4,426千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

当四半期会計期間末における固定負債合計は90,393千円となり、前事業年度末に比べ17,624千円減少しました。この主な要因は、長期借入金が17,667千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当四半期会計期間末における純資産合計は376,579千円となり、前事業年度末に比べ2,090千円増加しました。この主な要因は、四半期純利益1,943千円の計上があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の業績予想につきましては、平成28年12月8日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を  
当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	350,234	307,192
受取手形及び売掛金	189,408	169,281
商品及び製品	17,973	15,895
仕掛品	70,190	79,001
原材料及び貯蔵品	195	195
その他	18,221	21,026
貸倒引当金	△2,644	△2,297
流動資産合計	643,579	590,296
固定資産		
有形固定資産	9,723	9,285
無形固定資産	3,031	2,839
投資その他の資産		
その他	54,774	57,745
貸倒引当金	△7,814	△7,814
投資その他の資産合計	46,960	49,931
固定資産合計	59,715	62,056
資産合計	703,294	652,352

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	61,833	53,754
1年内返済予定の長期借入金	94,317	83,982
未払法人税等	7,905	1,179
賞与引当金	11,586	7,160
その他	45,144	39,302
流動負債合計	220,787	185,379
固定負債		
長期借入金	107,932	90,265
その他	86	128
固定負債合計	108,018	90,393
負債合計	328,805	275,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,140	139,140
資本剰余金	89,253	89,253
利益剰余金	145,489	147,432
株主資本合計	373,883	375,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	606	753
評価・換算差額等合計	606	753
純資産合計	374,489	376,579
負債純資産合計	703,294	652,352



(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
売上高	410,122	404,520
売上原価	255,095	247,593
売上総利益	155,027	156,927
販売費及び一般管理費	145,357	156,866
営業利益	9,669	60
営業外収益		
受取利息	43	38
受取配当金	36	74
保険解約返戻金	1,322	—
奨励金収入	150	146
その他	396	64
営業外収益合計	1,948	324
営業外費用		
支払利息	367	332
株式公開費用	11,850	—
その他	660	—
営業外費用合計	12,877	332
経常利益又は経常損失(△)	△1,258	52
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	2,352
特別利益合計	—	2,352
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,258	2,404
法人税、住民税及び事業税	419	303
法人税等調整額	948	158
法人税等合計	1,368	461
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,627	1,943

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日)

当社は、平成27年12月18日付で名古屋証券取引所セントレックス市場へ上場し、平成27年12月17日を払込期日として、一般募集(ブックビルディングにより募集)による新株式200,000株の発行を行いました。また、平成28年1月22日を払込期日として、エイチ・エス証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式30,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ44,436千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が139,111千円、資本準備金が44,436千円となっております。

当第1四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日)

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。